

世代を超えたつながりと
ママの視点を生かして
誇れるまちをつくりたい。

みんなの力で
復興 **スクラム!**



世代を超えて「ままりばサロン」に集うお母さんたち。後列左側は、代表の小川麻里子さん。

ままりば（大槌町）

「ままりば」とは、「ママのたまり場」と「リバティー（自由）」を重ね合わせた造語。「被災したまちで子育てする親たちが、ひと息つける場をつくりたい」と、2013年に代表の小川麻里子さんが立ち上げました。小川さんは、震災の翌月に第3子を出産しましたが、喜びの反面「子どもを元気に育てられるだろうか」と大きな不安を感じたといいます。同じ思いを共有する人たちに呼び掛けて、最初に始めたのは体験講座などのイベントの開催。地域のさまざまな達人たちを講師に招くうちに、祖父母世代まで交流の輪が広がりました。

居場所づくりから始まった「ままりば」の活動は、働く場を求める女性に内職を紹介したり、作品を販売したりと、今では就労支援にも及んでいます。小川さんは「仲間の笑顔が、私の一番の原動力。活動を長く続けるためにも、みんなの励みになるような収入を生む仕組みを作りたいです」と話し、自分たちのできる形で地域に力をもたらそうとしています。



稼ぐものづくり

さまざまな手芸・工作に触れながら仲間と過ごす時間は、利用者の癒しに。アロマストーンなど商品開発にも挑戦し、地域のイベントで販売しています。



世代を超えた交流

子育て世代と祖父母世代の料理教室では、地域の昔ながらの味を若い世代に伝授。年配の方にいろいろな相談をしたり、話を聞いてもらえる機会でもあります。



ままりばサロン

2014年12月、吉里吉里住民プロジェクトにより、三陸鉄道吉里吉里駅前に活動拠点「ままりばサロン」が完成。いつでも気軽に集まれるようになりました。

